

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 26 日 (2020.11.26)

【公表番号】特表 2019-534533 (P2019-534533A)

【公表日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-048

【出願番号】特願 2019-517376 (P2019-517376)

【国際特許分類】

H 0 1 M 4/13 (2010.01)

H 0 1 M 4/62 (2006.01)

H 0 1 M 4/38 (2006.01)

H 0 1 M 10/052 (2010.01)

H 0 1 M 4/139 (2010.01)

【 F I 】

H 0 1 M 4/13

H 0 1 M 4/62 Z

H 0 1 M 4/38 Z

H 0 1 M 10/052

H 0 1 M 4/139

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 13 日 (2020.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

典型的なリチウム - 硫黄電池は、リチウム金属またはリチウム金属合金から形成されたアノード（負極）と、元素硫黄または他の電気活性硫黄材料から形成されたカソード（正極）とを有する。硫黄または他の電気活性硫黄含有材料は、その導電性を向上させるために、炭素などの導電性材料と混合することができる。その炭素および硫黄は粉碎され、次いで溶媒およびバインダーと混合されてスラリーを形成することができる。そのスラリーを集電体に塗布し、次いで乾燥させて溶媒を除去することができる。得られた構造体をカレンダー加工して複合構造体を形成し、これを所望の形状に切断してカソードを形成する。セパレータを前記カソード上に配置し、電解質を前記セパレータに塗布して当該カソードおよびセパレータを湿らすことができる。リチウムアノードを前記セパレータ上に配置してセルスタックを形成することができる。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

（先行技術文献）

（特許文献）

（特許文献 1） 韓国公開特許第 2 0 0 4 - 0 0 3 3 6 7 8 号公報

（特許文献 2） 国際公開第 2 0 1 6 / 1 6 9 3 9 8 号

（特許文献 3） 中国特許第 1 0 3 2 5 8 9 9 0 号明細書

（特許文献 4） 中国特許出願公開第 1 0 5 2 2 6 2 8 8 号明細書

（特許文献 5） 米国特許出願公開第 2 0 1 6 / 1 4 9 2 6 1 号明細書

（特許文献 6） 米国特許出願公開第 2 0 1 4 / 0 7 2 8 7 3 号明細書